

標十五句

松岡隆子選

記憶とは違ふ明るさ鶏頭花
一ダースはあたたかき数冬木の芽
仏と分かつ新米の麦ご飯
一茶忌のうかと日なたに冬の蠅
紅葉づとふこと道の辺の小草まで
毎日が在りの遊びよ小六月
起き抜けの眩暈十一月に入る
日向ほこ無駄な時間といふ大事
昼過ぎの日のすぐ黄ばむ浮寝鳥
しづかさや十一月の樟に雨
コスモスの沖や老朽原発群
初嶋の昼を眠れる草の上
括りやうなきコスモスを括りけり
いつよりか冬の紅葉となつてゐる
淋しさに辛子利かせておでん酒
広渡詩乃
川上昌子
佐藤郭子
植草京子
松原ふみ子
鈴木綾
染谷晴子
小山陽子
平沢千恵子
相馬晃一
菊池京子
町田洋子
國盛千春
田坂孝志
梶浦道成